

つくば学園ロータリークラブ



TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 23rd year since 1986

6月25日(木) 上野年度最終例会報告

齊藤幹事退任挨拶

つくば学園ロータリークラブ23期目となった上野年度も、本日の最終例会をもってほぼゴールとなります。

2004年の7月に入会をさせて頂いた4年目の私が、幹事業務をこなす事が出来たのはベテランの上野会長であったからとあらためて思います。また同時につくば学園ロータリークラブの各会員の皆様のサポートのお陰だと思っております。感謝致します。

上野年度が始まる約一か月前から、稲葉国際奉仕委員長におかれましては、ゆかりの森国際交流納涼会でのJICA招待に関して積極的に働いて頂き、無事研修生を交えてのパーティが開催出来、幸先の良いスタートを切ることができました。また4月に行われたGSE受け入れに関しては、路川副委員長とともにドイツからの研修生5名をつくば市内の案内をして頂き、第6分区への義務を果たす事が出来ました。

ロータリー活動の最大の潤滑剤となる親睦活動を、毎回とても楽しい企画と料理で盛り上げて頂いた小城親睦委員長、時々予算が心配になりましたが、移動例会時の出席率とクラブ内の雰囲気が大いに向上し、見事成果を上げて頂きました。

未曾有の不況と言われている現在、会員数の現状維持が精一杯にもかかわらず、7名もの会員を入会させた岡添会員増強委員長と委員の方々、素晴らしい快挙でした。分区協議会の会議で毎回会員数増減の発表時に、大きな顔が出来たのは、本当に会員増強のおかげであります。

毎週毎週きちんと例会の様子をメモに取り写真を撮って、綺麗で読みやすい会報を作って頂いた安藤会報委員長と岡本副委員長、これはクラブ内のみならず他クラブでも毎回楽しみにしている方が多くいらっしゃいました。岡本副委員長は次年度、委員長として活躍される事になりますが、どうか無理をせずに頑張ってください。

今年度始めには存亡の危機を迎えた、つくば学園ロータリークラブが、飯田新世代奉仕委員長をはじめ下村理事そして塚原地区新世代奉仕委員長の連携で、今では会員数を増やし、無事、危機を脱出する事が出来ました。これも地区への義務を果たすことが出来ました。

当クラブの懐を預かっている、増山弘会計委員長におかれましては、ずっとお1人で会計管理をされていますが、増大する運営支出費と、減少する奉仕収入額のバランスをうまく取って頂きました。その職業柄からしても、大いに安心を頂きました。

毎月きちんと、例会スケジュールを準備手配して頂いた大友プログラム委員長、期間中一度も退屈した例会がありませんでした。また、事務局服部様が休職中には、臨時の事務局小川様を手配して頂きました。この時期もし、二か月の間、事務局不在が続けば、クラブの連絡や対外活動の他、私の仕事にも滞りが起こるところでした。

(次ページにつづく)



毎週例会での、皆葉SAA委員長をはじめとする田口副委員長、塚田委員、増田委員による会場進行は、若手の委員長を補佐するベテラン委員の様子が、ちょうどこのつくば学園ロータリークラブの縮図を見ている様で頼もしく微笑ましくまた安心を致しました。

中山米山奨学会委員長の発案による米山奨学会への寄付奉仕方法は、すばらしい発想の転換で、つくば学園ロータリー基金に合わせて、正統な理由で活動を行うことが出来ました。

目新しい職場訪問の企画で興味を湧かせて頂いた、菅原職業奉仕委員長、イーアスつくばやサイバーダインはとても楽しませて頂きました。

素早い計算で毎回出席率を割り出して頂いた、浦里出席委員長と鯨井副委員長、例会前日のメールによる案内は出席率向上に大いに役立った事と思います。

石川直前会長をはじめとする理事会の各メンバーの方々、毎月の理事会時には都度適切なアドバイスと自身の会長時のお話をして頂き、ぶれずに適切な運営が行えました。東郷副会長と佐藤副幹事に川崎副会長においては、次年度も継続してのご活躍をご期待申し上げます。

つい先日行われた、入会3年未満の新人研修会で講師を務めて頂いた、吉岡会員と中村会員の卓話には、正統なロータリー精神を窺い知る事ができました。ロータリーに対する姿勢や取り組み方は、ややもすると馴れ合いでだらだらとなってしまう組織で、いかに付き合っていく為の意識の持ち方が大切か、これからのロータリアンは大いに見習うべき事だと痛感致しました。

まだまだ申し述べ足りない事と思いますが、この他にも多くの会員の活動とその努力によって上野年度を大いに盛り上げて頂きました。

あらためて考えるとロータリーにおける活動は、各委員会や会員の皆様の様々な活動の上で成り立っており、幹事という立場は殆ど何もしていないに等しい仕事でした。

安心して皆様の活動の上に胡坐をかいていられた事は、つくば学園ロータリークラブが素晴らしいメンバーで成り立っている事の証しで、会長を始めとする会員皆様の歯車が上手く噛み合ったおかげであると、感動を致しました。

過ぎ去ってみると一年は「束の間」と感じますが、こうしてロータリーの活動を思い返すと、多くの会員や様々な活動とその努力によって成り立ってきたと実感致します。

心より感謝を申し上げます。

一年間お付き合いを頂き、ありがとうございました。

(原文のまま)

上野会長退任挨拶



今日は必死になって会長のタスキを探したのですが、どうしても見当たりませんでした。無くすはずはないのですがなかったのがタスキ無しで、またいつもながらのラフな格好でご挨拶をさせていただくことを失礼いたします。(実は川崎副会長が上野会長のタスキを掛け間違えていました。この珍プレーで例会場に笑いの渦が巻き起こりました)

今日は敢えて齊藤幹事に先に挨拶をして頂きました。齊藤幹事からは仔細な内容でこの1年を振り返っての挨拶をしてもらいました。私の言いたいこともほぼ同じ内容ですので、私の方は簡単にご挨拶させて頂くことにします。1年間会員の皆様にご協力を

いただきまして本当にありがとうございました。さて、人々はよく「一生は一度しかない」と口にしますが、実は一生は一度ではありません。一生とは「今」の瞬間しか存在しないものですから、一生とは空間に想像するものではなく「今」の瞬間に生きている、存在している、そのことが一生のすべてなのです。つまり私たちが今を生きていること、そのことが「一生」なのであって、数えることや測ることができない、その瞬間のそれぞれの連続が一生なのです。今を精いっぱい楽しみながら生きていくことが大切であると考えています。これからも我々は仲間として、共に生き、語り、楽しみながらロータリアンとしてお互いが成長出来るよう頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。(談：要旨)

染谷会員退会挨拶



染谷洪一会員

私は当クラブが創立されて2年目に入会しましたので、今年で23年目になると思います。また第9代目の会長も経験しました。会長を務めた翌年から地区へ出向し、休む間もなく皆様のご支援をいただきながら地区と当クラブのために勤めてまいりました。例会への出席免除となり1年が経ちました。あちらこちらに旅行をしたり、今まで忙しさの余り取り組むことができなかったことなどに挑戦しているうちに、ようやく私自身の将来を考える余裕ができ、他にやるべき事が見えてきました。私の息子には、1～2年後には当クラブへの入会を勧めています。長い間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

08-09上野年度 クラブ総会



上野議長

クラブ総会が行われました。議長には上野会長が選出されました。08-09年度のつくば学園ロータリークラブの活動等につきまして、議案や議題が提出されることはありませんでした。満場一致の盛大な拍手により、上野年度の活動が承認されました。おめでとうございます。

オークラフロンティアホテルつくば様へ感謝



当クラブが例会場として利用させていただいております、オークラフロンティアホテルつくば様に、日頃の感謝を込めて心ばかりのお礼をさせていただきました。ありがとうございました。

会員誕生祝い・結婚祝い



6月生まれ
6月 1日 塚田 陽威 会員

6月結婚祝い
6月 4日 吉岡 昭文・鞠子様



09-10 RI会長メッセージ

ジョン・ケニー会長



2009-10年度
国際ロータリー会長

ジョン・ケニー



一世紀余りにわたり発展し続けてきたロータリーの奉仕を振り返るとき、私たちの未来は、苦境にある人々に希望をもたらし、争いの絶えない世界に平和をもたらす幾世代ものロータリアンによって永く確かなものとなるに違いないと胸を張って言えます。私たち一人ひとり、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとたとえることができます。

この鎖が解けることなく永続していくためには、個々の輪が強くなけてはなりません。ロータリーの未来への鎖を堅固なものに鍛え上げることは、私の責務であり、皆さんの責務です。今年より来年、また、来年より再来年、さらにロータリーを強くしていくことは、私たちの責務です。また、ロータリーが、明日、次の新たなチャレンジに取りかけられるよう、今日、ポリオのない世界を築くという約束を果たすことも、私たちの責務なのです。

マハトマ・ガンジーは、かつてこのように言いました。「未来は、私たちが現在成すことによって決まる」第二世紀においてもロータリーの発展を望むのであれば、現状に甘んじているだけでは十分とは言えません。これからの長い道程に備えて地図が必要となりますが、私たちはその地図をすでに携えています。

国際ロータリーは確かな未来を築くため、世界中のロータリアンから協力を得て、7つの優先項目を掲げた長期計画を立てました。今、この計画を実行に移すときがやってきたのです。

・「ポリオを撲滅する」が、私たちの最優先事項です。募金のチャレンジを通じて、この重要な仕事を完遂し、世界に対して約束を果たすために、私たちはリソースの提供というかたちで力になることができます。

・「ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める」は、ロータリーが新会員を引きつけ、他団体からの協力を得ることにつながります。ポリオ・プラスでロータリーは世界の表舞台で活躍するようになりました。今後は、地元と世界における奉仕活動をメディアと地域社会に広め、国際的な地位を築いていくときがやってきたのです。

・「他者に奉仕するロータリーの能力の増大を図る」は、ロータリーの使命の核心に触れるものです。四大奉仕部門に沿って時間と才能と熱意をこれまでより少しだけ多く捧げるなら、すべてのロータリアンがこの目標に向けて貢献できます。2009-10年度も、近年、クラブが取り組み続けている重要な問題、すなわち、水、保健と飢餓救済、識字率向上の分野における奉仕活動に専念するよう、ロータリアンに呼びかけていきます。

・「質的にも量的にも会員組織を世界的に拡大する」は、重要な優先事項です。これは、ロータリーが達成すべき目標のすべてが会員をよりどころとしているからです。資格ある新会員をもたらすことは、私たち一人ひとりの責務です。しかしながら、この責務を果たしているロータリアンはわずかです。ほかの人々にクラブへの入会を勧め、会員を増やすことができるのはロータリアンしかいないのです。

・「ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する」は、ほかの奉仕団体や人道団体とロータリーとの違いを明確に分けるものです。職業倫理への高い水準を保ち、日々実践することによって、私たちは同僚や従業員、顧客はもちろんのこと、競合相手に対しても模範を示すことができます。

09-10 RI会長メッセージ

ジョン・ケニー会長



・「国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する」は、ロータリーの未来にとって欠かせない要素です。私たち一人ひとりが、なんらかのかたちで指導的役割を担うべきです。クラブレベルで委員会の委員長や奉仕プロジェクトの委員を務めたり、地区レベル、国際レベルで活躍するなど、さまざまな役割があります。すべてのロータリアンは職業において指導的な立場にある人々ですから、ロータリーにおいてもこの指導力を発揮すべきです。

においてもこの指導力を発揮すべきです。

・「組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全実施する」は、クラブ、地区、国際レベルで毎年指導者が交代する際に、引継ぎが効果的に行えるようにすることが目的です。

この長期計画はR I 理事会が承認したものではありませんが、これを実施するのは皆さんです。R I 会長が、皆さんのクラブに入会するようにと新しい会員を誘うことはできません。また、R I 理事会が、ポリオ撲滅の支援に向けて、皆さんの地域で募金活動を企画したり実施したりすることもできません。同様にシニア・リーダーが、皆さんの職場でロータリーの倫理規範を実践することもできません。すべては、皆さん自身が実行しなければならないのです。ロータリーの未来はあなたの手の中にあります。

一人ひとりのロータリアンに自らの責務を胸に刻んでいただくために、この真実を2009-10年度のテーマとして選びました。かのウィンストン・チャーチル卿は、「偉大さの代償は責任だ」と述べています。ロータリーは偉大な組織です。私たち一人ひとりが課題に立ち向かい、未来に対する責任を果たすなら、ロータリーはさらに素晴らしい組織へと発展する可能性を秘めているのです。

ロータリーにおいては、「ロータリアン」という肩書きの下、各会員に仕事を与えられています。私たちの任務は、地元と国際社会において必要とされる奉仕を提供すること、そして、事業と専門職務に携わるリーダーを新会員として誘い、地域社会で好ましいイメージを築きながら、クラブの器を広げていくことです。ロータリアンとしての私たちの職務には、職場と私生活において倫理的行動の規範を示し、クラブと地域社会においてリーダーの役割を務め、ロータリーの最優先事項であるポリオ撲滅を全面的に支援することも含まれています。

ロータリアンという仕事には、計り知れない恩典があります。私たちは、かけがえのない親睦を享受し、他者のために尽くすという個人的な生きがいを得ることができます。皆さんがロータリーとその力を信じるのであれば、今こそ立ち上がり、全身全霊でロータリアンとしての仕事に全力投球するときです。ロータリーの未来はあなたの手の中にあるのです。



第2820地区ガバナーメッセージ

内藤 彰 ガバナー



R I 第2820地区ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2820地区

2009~10年度ガバナー 内藤 彰



2008年、アメリカのサブプライムローンの破綻が引き金となって、リーマンブラザーズの倒産に始まり、たちまち世界中に広がった金融システム崩壊の危機は、先進諸国に100年に1度と言われる経済不況をもたらしました。

一方、第2次世界大戦後、植民地からの独立を果たしたアジア、アフリカ等の発展途上国では、人口が加速度的に増加し、現在も1年に8000万人も増えて、地域によってはその分、貧困層が急激に拡大し、紛争、飢餓、疾病、幼児死亡率の増加と惨状を呈しております。そのような時代背景を背負って、100年を超える歴史を重ねてきたロータリー活動も、正念場の年度を迎えることになります。

ジョン・ケニーR I 会長は、今年度のテーマを「ロータリーの未来は貴方の手の中に」とし「ロータリーは総てクラブに始まり、クラブに終わる」と、クラブの自立性を求められました。しかし、継続は力であるとして、R I の長期計画である「水、保健と飢餓救済、識字率の向上」を強調事項とし、「自分の庭の外に目をむけよう」と奉仕プロジェクトへの参加を呼びかけ、ロータリー財団への支援を要請しております。

国際協議会では、事業や職業の環境が悪化する中だからこそ、倫理感と社会的責任感が求められていると、ロータリーの基本である職業奉仕の道を勇気をもって歩んでいこうとの呼びかけがありました。

又、ポリオ撲滅にもう一步というこの機会を逃してはならないと、B & M・ゲイツ財団から、先年の1億ドルに続いて、2億5,500万ドルの寄付が寄せられ、R I も1億ドルに追加して、2012年6月30日までに、もう1億ドルの募金を行うことになりました。合わせてポリオ撲滅への資金投入誓約額は5億5,500万ドルとなります。

このような状況を踏まえて、地区としての方針と目標を次のように定めました。

方針

- ①ロータリーの原点である「職業奉仕の原則を守り」、「職業倫理の向上」を大切にしよう。
 - ・多様性は力。異なった経歴や職業をもった会員を増やそう。
 - ・クラブ活性化のために、次世代を担う、若い会員の増強を図ろう。
- ②例会プログラムを充実させ、魅力あるクラブを作ろう。
- ③I M開催を通してロータリーの研究と、親睦の輪をクラブから分区、地区へと広げよう。
- ④「今ある地球環境を損なうことなく子孫にお返す」ために「今日出来る奉仕」をしよう。「きれいな水」「CO₂の削減」。
- ⑤次代を担う子供達に「思いやりの心」を育て、国際交流を通してそれを世界に広げよう。
- ⑥国際社会奉仕(WCS)事業を継続推進して、世界の貧しい人達に手を差し伸べよう。
- ⑦ポリオ撲滅に挑戦しよう。
- ⑧R I 会長賞に挑戦しよう。
- ⑨R I 第5610地区(南ダコタ他・USA)とのGSEを成功させよう。
- ⑩第101回モントリオール年次大会に参加しよう。
- ⑪地域での奉仕活動を通してロータリーの公共イメージを高めよう。

第2820地区ガバナーメッセージ

内藤 彰 ガバナー



目標

- ① 会員増強 : 現会員の維持と各クラブ会員1名の純増
- ② R財団支援 : 年次寄付を1人110ドルとして継続
ポリオプラス支援を1人50ドルとして継続
恒久基金への協力、1クラブ1人のベネファクター
- ③ 米山奨学会事業 : 一人20,000円の寄付の継続



②は前年度の年次寄付1人130ドル+ポリオプラス支援1人30ドル=1人160ドルの総額を変えず、年次寄付から1人20ドル分をポリオプラス支援にあてて1人50ドルとし、同額を3年継続する提案であり、厳しい経済環境の中で「ポリオ撲滅もう一步」とするロータリーとビル・ゲイツの挑戦への支援を優先しようとの考えであります。

世の中は、権力、財力、暴力（武力）の三つの力によって支配されていると言った人がいるそうですが、そこには殺伐としたイメージしか浮かびません。ロータリーの「愛を込めた奉仕活動」は、その中に、「人々の心をつなぐ」第4の力を注ぎ込んで、「平和への希望」をもたらすものだと考えます。皆様と共に、厳しいと予想される年度を、明るい達成感をもって終わらせられるよう努めたいと思います。よろしくご協力、ご支援を下さいますよう、お願い申し上げます。

訃報

訃 報

当クラブ会員 国府田仁兵衛 様が6月25日にご逝去されました。

お通夜は6月28日（日）午後6時より

告別式は6月29日（月）午後1時より

筑西市のメモリアルホール「松崎」にて執り行われました。

国府田様は昭和18年7月19日生まれ、享年65歳でございました。

当ロータリークラブには平成7年7月13日に入会され、約14年間在籍され、温厚なお人柄で会員皆に尊敬され、慕われた方でした。

ここに生前のご厚誼に深く感謝申し上げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



ゴルフが大好きだった故人を偲んで、祭壇は赤い旗が立ったゴルフコースとなっていました。



6月25日(木) 最終例会会場から



上野年度の最終例会。どことなく疲労感が漂う・・・



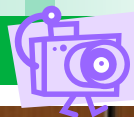
なんとなく、お疲れの気配が・・・



この1年間に思いを馳せているような・・・



さあ、皆さん！ にこやかな笑顔で参りましょう！



6月25日(木) 例会会場から



ニコニコBOXのノルマは達成されましたか？



ニコニコ最終発表！



お食事報告



上野会長、本当に最後の点鐘の瞬間！

1年間、お疲れ様でした！

ありがとうございました！

今月のニコニコ大賞



最終例会では4名が受賞しました。

中山 正巳 会員
上野 修 会長
田上 憲一 会員
東郷 治久 会員

おめでとうございます。

最終投稿(おまけ)



菅原会員からの投稿

今週のニコニコBOX

最終例会

安藤 栄敏	上野会長、斎藤幹事、1年間お疲れ様でした。思えば1年前「会報委員長をやってくれ！」と口説かれた時、言い訳ばかりして逃げまくっていた事、申し訳ありませんでした。お役に立てたかどうかは、わかりませんが、自分的には満足しています。ありがとうございました。
石川 英昭	上野会長、斎藤幹事1年間ご苦労様でした。また、全会員のバックアップ、共に称賛をしたいと思います。次年度も共にがんばりましょう。
磯山 正蔵	会長、幹事1年間ご苦労様でした。
上野 修	1年間ありがとうございます。お陰様で無事終わることが出来ました。斎藤幹事ほうとうにありがとう。
小城 豊	上野会長、斎藤幹事1年間お疲れ様でした。打ち上げパァッ！とやりましょう！！
小堀 恒雄	染谷さん長い間ご苦労様。23年前一緒に入ったときの思い出がなつかしく思い出します。
下村 正	ドライバーは最高、アイアンは切れまくり、ボールは限りなく飛ぶ、あとはまっすぐ飛ばすハートがほしい。だれか助けてくれ・・・ヘボゴルファーのつぶやきです。

今週のニコニコBOX 最終例会

染谷 洪一	大変お世話になりました
塚越 俊祐	上野会長、斎藤幹事 1 年間お疲れ様でした。私のノルマも達成かな？
塚田 陽威	上野年度最後の例会、上野会長、斎藤幹事、役員の皆さん大変ご苦労さんです。やっとノルマ達成です。東京で会議の為、最後までいれなくてごめんなさい。
宮川 健治	上野会長、お疲れ様でした。ハーフを追加して、ワンハーフで行きますか？
宮澤 泰輔	来期も親睦活動のお役に立てるように、頑張っていきます。
吉岡 昭文	ノルマ達成！



本日の合計

¥118,873-

本年度累計

¥1,558,983-

出席率報告 6月25日(木) 最終例会

無届欠席”ゼロ”、出席率70%以上が目標！

会員数	出席数	欠席数	内無届欠席数	出席免除	出席率
65名	46名	19名	3名	3名	75.38%

「無届欠席数」
3名でした！



報告

出席委員長
浦里浩司

プログラム 予告

7月 9日(木) 移動例会 (ダイワロイネットホテルつくば)
 ブラッセリー・デュプラにて午後7時から
 ◇直前会長・幹事慰労会

7月16日(木) 休 会 定款第5条第1節により

7月18日(土) 移動例会 (豊里 ゆかりの森) 午前11時から
 ◇納涼祭・国際交流パーティ

※アロハシャツやポロシャツなどの軽装で参加して下さい。

※ご家族・友人の参加大歓迎です。(人数をお知らせ下さい)

7月23日(木) 休 会 7/18納涼祭に振替

7月30日(木) 例 会 (オークラフロンティアホテルつくば)
 ◇ガバナー補佐訪問 ◇会員誕生祝い ◇ニコニコ
 ◇招待卓話 茨城県環境政策課(エコ事業所登録)



4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ホームページもご覧下さい

<http://www.46gama.com/>

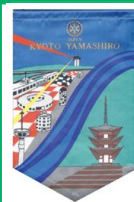
編集後記

(クラブ会報委員長：安藤)

●私は今この欄を泣きながら書いています。先週の例会終了後の夕刻に国府田会員の突然の訃報に接し、大変な驚きと悲しみで一杯です。私の知っている国府田さんは本当に優しい紳士でした。新入会員だった頃から私をゴルフに連れ出して下さり、超ハタクソな私に明るく楽しく優しく粘り強くそして熱心に教えて下さいました。去年の春過ぎ、脚が痛むと言ってティエグランドに正座していた国府田さんに私の肘痛の鎮痛軟膏を塗ってあげたっけ。若い頃よく通ったという都内のお店にも連れて行ってくれました。私が上野で飲んでた時、国府田さんから電話をもらい偶然同じビルの別の店にいたようで合流したこともあったなあ。アプローチショットは乱れず、お酒の席でも決して乱れず、いつでも優しい笑顔や笑い声を振りまいてお気遣い頂きました。ご家族を愛し、人一倍健康には気を遣われ、身体のチェックもマメに行っていたはずの国府田さんが、急に天国へ旅立たれた状況がまだよく理解できないのは諸先輩方と一緒に。いつまでも国府田さんのフォームや笑顔を忘れることができません。合掌

●上野年度最後のクラブ会報。最終第43号で終了となりました。次年度、安藤は親睦活動委員長へ転出し、クラブ会報作りは岡本委員長に引き継がれます。記事や写真をご寄稿下さった皆様、例会やイベント時などにカメラを向けると最高の笑顔を向けて下さった会員の皆様、そして拙い記事やセンス悪い編集であるにも関わらず、私たちが作りましたこのクラブ会報に、HPなどを通じてお付き合い下さった全ての皆様、この1年間暖かく見守って下さいまして本当にありがとうございました。

例会日 木曜日 12:30~13:30
 例会場 「オークラフロンティアホテルつくば」
 つくば市吾妻1丁目1364-1



友好クラブ

京都山城ロータリークラブ
 (第2650地区)

つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047

茨城県つくば市千現2丁目1番6つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100

FAX 029-858-0101

Email: gakuenrc@46gama.com

